

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こころとことばの教室こっこ 葛西駅前校		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 10月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の質の向上を図るため、研修の受講機会や法人内で研修を開催する機会が確保されている。	自己研鑽助成金、という制度が整備されており、外部研修を受講しやすい状況を整えている。 法人内の研修は研修動画を作成し、職員が個々のタイミングで受講できるようにしている。また、個々のタイミングでの視聴以外にも、日時を決めて研修動画を配信する機会を作り、参加を促している。	法人内研修は、職員の参加のしやすさ、時間設定、頻度など、引き続き工夫をしていく。
2	個々のお子さんに関する日々の丁寧な関わりと、PDCAサイクルに基づいた支援の実践。	療育の都度、お子さんに関わる複数人で振り返りを行っている。その中で課題や支援内容、狙いを整理し、今後の支援に繋げている。	引き続き、関係スタッフが連携、相談し合う機会の調整を行っている。
3	療育の都度、お子さんの様子について保護者と共有し、やりとりをしている。	お子さん、親御さんについてスタッフが1人きりで抱えることなく、保護者に了承を得た上でスタッフ間で共有、相談し合いながら対応をしている。	保護者からの相談や質問を受ける時間が足らなくなることがあるが、別途相談時間を設けることができるということについて、わかりやすく伝えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	エレベーター前、エントランススペースの安全管理	エントランススペースが狭く、帰所時に混雑が生じやすい。	構造上、根本改善は困難だが、帰所時は順番にエントランスにご案内するほか、エレベーター前に必ずスタッフを配置しお子さんが絶対に挟まれないよう安全を守る。
2	イベントの頻度や内容	年間を通して屋内、屋外イベントや就学情報共有イベント等を企画しているが、利用者が参加できるタイミングと合わないことも多い。	年間のイベント実施数や時間帯、内容など、事業所で取り組むことができる限度もあるので、引き続き保護者からのニーズを聞き取りながら今後の内容検討に生かしていく。
3			